

研究課題名

OPTIVUS-Complex PCI: Optimal Intravascular Ultrasound Guided Complex Percutaneous Coronary Intervention study

至適な血管内超音波ガイド経皮的冠動脈インターベンションの複雑性病変における臨床経過を評価する前向き観察研究

研究の目的

本研究は、重症冠動脈疾患に対して経皮的冠動脈インターベンション(PCI)を行う際の血管内超音波所見について達成すべき基準を予め設定し、その基準を遵守して治療を行うことで過去の治療成績と比較して改善が得られるどうかを評価することを目的としています。

研究の方法

重症冠動脈疾患に対してPCIを行う際の血管内超音波所見について達成すべき基準を予め設定し、その基準を遵守して治療を行い、その後の治療経過を追跡し、CREDO-Kyoto Cohort-3研究に登録された同様の病変を有する症例との治療経過のデータと比較解析します。本研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院医の倫理委員会の承認を得て実施されています。

コントロール群の抽出について

本研究では血管内超音波所見について達成すべき基準を予め設定し、遵守することで治療成績が向上するかを評価するため、CREDO-Kyoto Cohort-3研究に登録された同様の病変を有する症例を無作為に抽出し、画像解析や治療経過の比較を行います。CREDO-Kyoto Cohort-3研究は、2011年1月から2013年12月に冠動脈疾患に対して初回の冠血行再建術を施行された患者さんを対象とした観察研究です。コントロール群として抽出された場合も氏名や個人を特定されるデータは使用、公表されることはありません。

研究成果発表

学会等や誌上での報告を行います。個人名や個人情報公表されることはありません。

問い合わせ先

この研究に関する相談やお問い合わせ(研究資料の入手方法を含む。)、またはご自身の診療情報につき開示または訂正のご希望がある場合は、下記連絡先までご連絡ください。なお、この研究の対象者となることを希望されない場合は、お申し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

小倉記念病院 循環器内科 山地 杏平

電話 093-511-2000(代)